



マドリッド 日本語で聖書を読む会 2008年5月度月報

「神にとって不可能なことは
一つもありません。」
ルカの福音書1章37節

連絡先

<http://www.pihkala.net/madrid/>

世話人 吉川 祥永
携帯 620-893-080

伝道師 高木 陽子
携帯 695-663-959

インマヌエルバプテスト教会 (www.ibcmadrid.com)
(地下鉄 Arturo Soria 駅から徒歩約15分)
住所 Hernández de Tejada, 4, Madrid

マドリッド聖書を読む会は高木伝道師の献身、会員の奉仕と献金、米国・西国・日本のクリスチャン・教会等の献金によって支えられています。当会は聖書に基づいた教派を問わないキリスト教の集まりです。モルモン教、エホバの証人、統一教会とは関係ありません。

2008年5月18日礼拝プログラム

司会 高木伝道師
奏楽 今井姉

招きの祈り	司会者
賛美	156: 目を上げ、わたしは見る
聖書通読	マルコ15章1~20節
分かち合いの時	
感謝とお願いの祈り	
賛美	466: 山路こえて
本日の聖書箇所	ヘブル11章8~16節
奨励	「天の故郷を想って」 ハンナ姉
賛美	467: われらを導く
献金のお祈り	
頌栄	賛美歌 28
祝福の祈り	高木伝道師

★ 礼拝後は日本食を囲んで歓談の時があります。

今後の予定

5月 8日 (木) 11:00	聖書の学び	インマヌエル教会
5月 18日 (日) 13:45	聖日礼拝	インマヌエル教会
6月 1日 (日) 13:45	聖日礼拝	インマヌエル教会

★ お問い合わせは、世話人にご連絡ください。

先月の報告

4月 6日	聖日礼拝	7人
4月 10日	聖書の学び	2人
4月 20日	聖日礼拝	7人
4月 20日	世話人会議	4人

本日の聖書箇所

信仰によって、アブラハムは、相続財産として受け取るべき地に出て行けとの召しを受けたとき、これに従い、どこに行くのかを知らないで、出て行きました。

信仰によって、彼は約束された地に他国人のようにして住み、同じ約束とともに相続するイサクやヤコブとともに天幕生活をしました。

彼は、堅い基礎の上に建てられた都を待ち望んでいたからです。その都を設計し建設されたのは神です。

信仰によって、サラも、すでにその年を過ぎた身であるのに、子を宿す力を与えられました。彼女は約束してくださった方を真実な方と考えたからです。

そこで、ひとりの、しかも死んだも同様のアブラハムから、天に星のように、また海べの数えきれない砂のように数多い子孫が生まれたのです。

これらの人々はみな、信仰の人々として死にました。約束のものを手に入れることはありませんでしたが、はるかにそれを見て喜び迎え、地上では旅人であり寄留者であることを告白していたのです。

彼らはこのように言うことによって、自分の故郷を求めていることを示しています。

もし、出て来た故郷のことを思っていたのであれば、帰る機会はあったでしょう。

しかし、事実、彼らは、さらにすぐれた故郷、すなわち天の故郷にあこがれていたのです。それゆえ、神は彼らの神と呼ばれることを恥となさいませんでした。事実、神は彼らのために都を用意しておられました。

(ヘブル人への手紙 11:8-16)